

2020年2月14日

株式会社みずほフィナンシャルグループ  
株式会社みずほ銀行

**国際イニシアティブ「インパクト・マネジメント・プロジェクト」に  
日本の金融機関として初めて加盟  
～サステナビリティ推進加速に向けた環境づくり～**

株式会社みずほフィナンシャルグループ（執行役社長：坂井 辰史）と株式会社みずほ銀行（頭取：藤原 弘治）は、事業活動によって生まれる社会的な成果や変化（社会的インパクト）の理解、測定、活用を目的とした国際原則の策定を進める「インパクト・マネジメント・プロジェクト（以下、IMP）」に、このたび、日本の金融機関として初めて加盟しました。また、アジアの金融機関として初めて、インパクト・マネジメントの実践等を主導的に推進するアドバイザリーグループのメンバーとなりました。

IMP は、国連開発計画 (UNDP) や国際金融公社 (IFC)、経済協力開発機構 (OECD) 等国际機関を含めサステナビリティを積極的に推進している 2,000 以上もの機関が参画するインパクト・マネジメントに関する世界最大の国際イニシアティブです。また、これまでにないインパクトの測定とインパクト・マネジメントのための網羅的な基準策定のために、国連グローバル・コンパクト (UNGC)、国連責任投資原則 (PRI)、GRI、B Lab 等の 13 の認定・基準策定機関で構成される IMP ストラクチャード・ネットワークも運営しています。

SDGs 達成に向け、民間企業も事業活動を通じ、ESG リスクを適切に管理するとともに、ポジティブな社会的インパクトの最大化が期待されています。そのような時代の要請のなか、明確かつ実践的な原則を示す IMP の趣旨と社会的意義に〈みずほ〉は賛同し、IMP に加盟することとしました。

また、日本で最初に IMP の戦略パートナーとなったケイスリー株式会社（代表取締役：幸地 正樹）とも連携し、インパクト・マネジメントの原則策定とその実践に向けた SDGs プラットフォームの構築を通じて、日本からインパクト・マネジメントの普及と発展に貢献していきます。

〈みずほ〉は、5 年経営計画の行動軸である「オープン&コネクト」のもと、サステナビリティへの取り組みについても、ポジティブな社会的インパクトの拡大に向け、外部パートナーとも連携して積極的に取り組み、SDGs 達成に貢献していきます。